

認知症について相談したい時は……

受診(予約など事前に)ご確認ください

かかりつけ医

最も身近な専門家です。心配なことがあれば、遠慮せず相談しましょう。



連携

相談窓口

蟹江川より東地域にお住まいの方

①蟹江町東地域包括支援センター
蟹江町大字今字伊勢苗代1番地1(カリヨンの郷内)
☎0567-94-3320

蟹江川より西地域にお住まいの方

②蟹江町西地域包括支援センター
蟹江町須成西七丁目90番地1(セーヌ蟹江内)
☎0567-94-1165

③蟹江町役場 民生部介護支援課

蟹江町学戸三丁目1番地 ☎0567-95-1111

若年性認知症の相談

愛知県若年性認知症総合支援センター
☎0562-45-6207
月～土 10時～15時(祝日・年末年始を除く)

連携

連携

認知症疾患医療センター

愛知県及び名古屋市が指定する、認知症専門医療機関です。認知症に関する鑑別診断や、認知症の行動・心理症状等への対応についての相談ができます。近隣には次の医療機関があります。

七宝病院 もの忘れ外来

あま市七宝町下田矢倉下1432 ☎052-443-7900

まつがげシニアホスピタル もの忘れ外来

名古屋市中区打出二丁目347 ☎052-352-4165

名鉄病院 認知症専門医療相談室

名古屋市西区栄生二丁目26-11 ☎052-551-2802

国立長寿医療研究センター もの忘れセンター外来

大府市森岡町七丁目430 ☎0562-46-2547



愛知県内の最新の一覧は
県ホームページに掲載

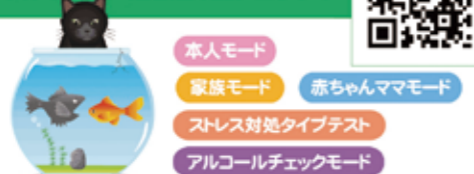


愛知県認知症疾患医療センター

チェックしてみよう

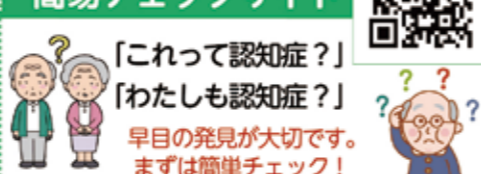
蟹江町
公式ホームページに
掲載しています

こころの体温計
ストレス度・落ち込み度チェック!



<https://fishbowlindex.jp/kanie/>

認知症
簡易チェックサイト



<http://fishbowlindex.net/kanie/>

蟹江町

認知症あんしんガイドブック

認知症は誰もがなりうる身近な病気です。自分、家族、身近な人……。誰が認知症でも、住み慣れたまちで自分らしく暮らせるようできることから始めませんか。



認知症ってなに? [2ページ]

認知症の方への接し方 [6-7ページ]

認知症は早期発見が大切です! [3ページ]

認知症について相談したい時は [8ページ]

認知症の方の気持ちと対応のポイント・社会資源 [4-5ページ]



「いつもと違う」「最近おかしいな」など、困ったことがありましたら、

ご相談
ください

蟹江川より東地域にお住まいの方
蟹江町東地域包括支援センター
☎0567-94-3320

蟹江川より西地域にお住まいの方
蟹江町西地域包括支援センター
☎0567-94-1165

認知症ってなに？

認知症はさまざまな原因で脳の働きが悪くなり、記憶力や判断力などが低下し、日常生活に支障をきたす状態のことをいいます。原因となる病気はたくさんありますが、主なものは次の4つの病気です。



認知症を引き起こす主な病気

病名	特徴
アルツハイマー病	脳が委縮して脳の機能が全体的に低下していきます。症状は徐々に進行します。
脳血管性疾患	脳梗塞や脳出血などで、脳の細胞の働きが失われます。病変部位により症状が異なります。
レビー小体病	脳内にレビー小体という特殊な物質が蓄積され、脳の働きが障害されます。筋肉の硬直などのパーキンソン様症状や具体的な幻視など、多様な症状がみられます。
前頭側頭葉変性症	前頭側頭葉を中心に脳が委縮し、理性や感情のコントロールが難しくなります。失語がみられることもあります。

認知症の症状 | 中核症状と行動心理症状といわれるものがあります。

中核症状 ……脳の機能が低下することによって起こる **徐々に進行する**

● 記憶障害 ものごとを思い出せない、覚えられない	● 見当識障害 時間・日付・季節・場所・人間関係など、自分が置かれた環境がわからない
● 理解・判断力の障害 考えるスピードが遅くなり、2つ以上のことが重なるとうまく処理できない	● 実行機能障害 ものごとを順序良く進めることができない

中核症状に不安やあせり、心身の不調、周囲の適切でない対応が影響すると

行動・心理症状 ● 幻覚 ● 妄想 ● うつ状態 ● 徘徊 ● 興奮 ● 暴言 ● 暴力 ● 不潔行為 などの症状が出る場合があります	改善できる こともあります
---	--------------------------

早期発見・早期対応のメリット

- ① 早期対応で、改善や進行を緩やかにすることが期待できます。
- ② 治療できる認知症や、よく似た症状のある病気にも対応できます。
- ③ 症状が軽い段階から、こころ・身体・生活の準備をすることができます。

認知症は早期発見が大切です！

以下の「早期発見のめやす」を参考に、当てはまる項目があるなど、気になることがあればまず相談しましょう。

出典：公益社団法人 認知症の人と家族の会作成

「認知症」早期発見のめやす

もの忘れがひどい



- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う、問う、する
- しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探している
- 財布・通帳・衣類などが盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える



- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない



- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる



- 些細なことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い



- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

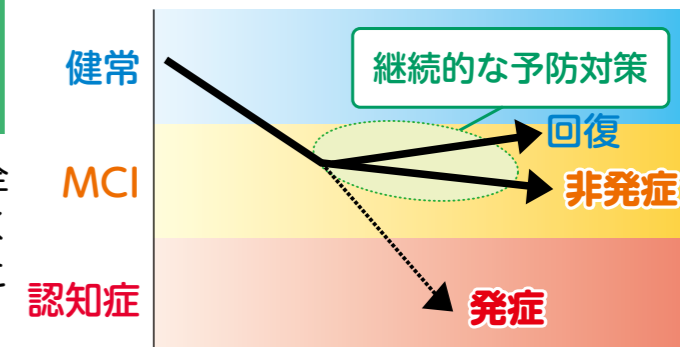
意欲が無くなる







- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をするのも億劫がり嫌がる

知っておきたい「軽度認知障害 (MCI)」

「軽度認知障害 (MCI)」とは、認知症と完全に診断される一歩手前の状態です。放っておくと認知症に進行しますが、適切な対処をすることで健常な状態に戻る可能性があります。



認知症の方の気持ちと対応のポイント

	予防	変化の起き始め (気づきの時期)	見守りが必要 (発症した時期)	日常生活に手助けが必要 (症状が多くなる時期)	常に介護が必要 (身体の障害も複合する時期)	
本人の気持ち		◆意欲が低下、外出が億劫になる これからどうなるのか不安なとき 「もっとしっかりして」と言われると苦しい。		◆家族がそばにいないと不安 できないことも増えるが、できることも たくさんあることを知ってほしい。		◆言葉で自分の状態が表現できない 何もわからない人と考えないでほしい。 自分らしさを尊重してほしい。
対応のポイント		●メモを残す ●居場所や仲間を増やす ●本人の不安をやわらげる ●生活の中で役割を持ってもらう ●相談窓口相談する		●話をすぐに訂正せず、本人の気持ちを一旦受け止める ●見守りの体制を充実させる ●安全対策を考える ●介護のサポートを検討・活用する ●悪徳商法などから守る		●言葉や表情ではわからない体調や気持ちの変化に注意する ●コミュニケーションを工夫する ●介護と看護を充実させる

● 知っておきたい社会資源・サービス 各項目の①②③は、8ページの相談窓口に対応しています。

地域包括支援センター①② 認知症はもちろん、高齢者のさまざまな困りごとの相談窓口です。お気軽に相談してください。	チームオレンジかに組(ちーかに)①② 認知症の方や家族と、地域の認知症サポーターが支え合い、畑作業やサロンなどの活動をしています。	認知症初期集中支援チーム①② 医療やサービスにつながない方、利用が難しい方を、専門チームが支援します。	認知症サポーター養成講座①② 認知症の症状や接し方などを学び、正しい知識を身につけましょう。	成年後見制度①② 自分で判断することが難しい人に、契約や財産管理などを行う代理人を定める制度です。	ケアラズカフェ①② ケアの専門家や認知症介護の経験者がサポートしながら、介護をするご家族の悩みを相談したり交流したりする場です。	デイサービス、デイケア(通所介護) 【介護保険サービス】通いの教室で、運動や入浴をしたり、人と交流したりして、在宅での生活をサポートします。	入所・入居施設 【介護保険サービス】自宅での生活が困難になった方が、安心して暮らすことのできる施設です。
役場介護支援課③ 介護保険を利用するためには、介護認定の申請が必要です。役場介護支援課へご相談ください。	介護予防教室③ ・暮らしの動き教室 ・ミュージック教室 ・認知症予防ヨガ教室 ・男性だけの健康づくり教室 ・ひびきあい広場 など	認知症カフェ①②③ 認知症のかたや家族が安心して気軽に訪れることができるカフェです。地域の皆さんもお立ち寄りください。	民生委員③ 地域のつながりを生かして、相談にのったり、見守りをしてくれる、適切な支援への「つなぎ役」です。	認知症高齢者等個人賠償責任保険③ 認知症の方が他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したりして法律上の損害賠償責任を負う場合に備える保険です。	認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク③ 行方不明の高齢者を、同報無線や防犯メールで配信し、地域の目で探すことで、早期に保護するための取り組みです。	ケアマネジャー サービスの利用にあたり、本人や家族と話しながら、利用の計画を作り、相談に乗ってくれる専門家です。	ホームヘルプ(訪問介護) 【介護保険サービス】自宅にヘルパーが訪問し、買い物、掃除、入浴介助など、本人に必要なサポートを行います。
蟹江町社会福祉協議会 地域の皆さんや行政、ボランティア、企業、福祉関係者の協力を得て共に地域福祉を推進する社会福祉団体です。 ☎0567-96-2940	つどいの場(地域サロン)・長寿会 地域の皆さんが集まり、人とのつながりや助け合いが生まれる場所です。自分に合う居場所を見つけて参加してみませんか。	友愛訪問 65歳以上のひとり暮らしの方などに、婦人会や長寿会連合会の協力員が訪問し、安否確認や悩みごとの相談を行います。	配食サービス 65歳以上のひとり暮らしまたは65歳以上のみの世帯の方などに、安否確認を兼ねた昼食用お弁当を自宅にお届けします。	日常生活自立支援事業 認知症などで判断能力が不十分な方が、自立した生活を送れるよう、福祉サービス利用援助や金銭管理等の支援をします。	かにえまるごとサポートセンター①② 有償ボランティアが高齢者(要支援の方など)の生活の困りごとをお手伝いする事業です。	かかりつけ医 医療面からのアドバイスを受けることができる最も身近な専門家です。	訪問診療、訪問看護 定期的に医師や看護師が自宅を訪問して診療、検査、処置などをおこなうことができます。

認知症の方への接し方



基本姿勢

認知症の方へ対応の心得 “3つの「ない」”

- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない

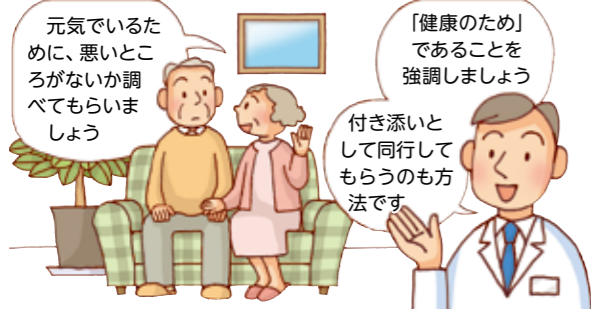
ケース別

認知症の方へのよい対応、わるい対応

認知症の方は、言動がおかしくなったり、わがままになったり、事実と異なることを話したりすることが多々あります。それらの態度や言動は、家族からすると「困ったこと」かもしれませんが、実はそれぞれに理由があるのです。わがままや間違っただけに腹を立てて正そうとするのではなく、認知症の方の心理を理解し、よい対応を学んで、ストレスのない関係をつくりましょう。

認知症の疑いがあるのに、病院の受診を嫌がる

- ほかの不調な部分を理由に誘う
- 本人の意思を無視して受診日を強引に決める
- 付き添いとして誘う
- 何度もしつこく誘う



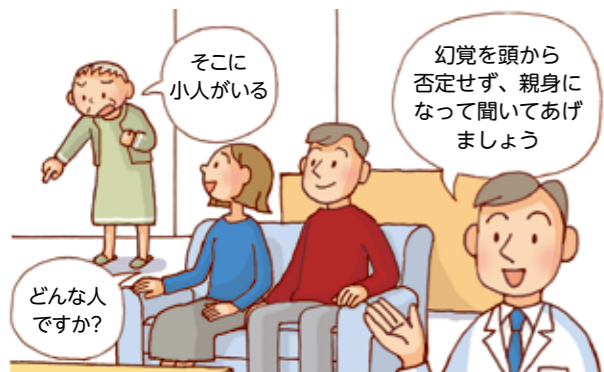
「ものを盗まれた」と、家族を犯人扱いする

- 本人の訴えを真摯に聞く
- 味方になって一緒に探す
- 関心の方向を変える
- 本人が見つけられるように工夫する
- 盗まれていないことを言葉で説得する
- 頭ごなしに否定する
- 本人より先に見つけ出して、教えてあげる



「幻覚が見える」と訴えている

- 具体的な内容を興味を持って引き出す
- 話を聞きながら上手に対応する
- 幻覚であることを強制的に認めさせる
- 安易に同意したり、きっぱり否定する



一人歩きをして、迷子になってしまう

- 外出の理由を聞き出し、本人の意向に沿って対応する
- 軽い仕事を手伝ってもらうなどして運動不足を解消させる
- 一人で出かけるのを家の人が気づくように、玄関の開閉時に音が出るようにする
- 服に名前と連絡先を入れておくようにする
- 部屋に閉じ込めるなど、外出できないようにする
- 外出を無理やり引き止める



食事したことを忘れて、さらに食べようとする

- 関心をほかにそらす
- 嚥下障害がなければアメや昆布など長く口に残る間食を用意する
- 間食に備え、一回の食事の量を少なめにする
- 「さっき食べたじゃない」と論ず
- 盗み食いしないよう食べ物を隠す



何度も同じことを聞く、同じことを話す

- 何度も聞いた話や質問でも初めてのつもりで接する
- 曜日の質問を繰り返すときは、日課を決めて毎日を楽しんでもらう
- 「何度も同じ質問をしないで！」などと強く指摘する
- 教えこもうとする



薬を飲むのを忘れる／飲むのを嫌がる

- 薬を飲むの見届ける
- 嚥下障害で飲みにくい薬の場合は、かかりつけ医に相談する
- 手渡しをするだけで飲むところを見ない
- 飲み忘れを叱る
- 勝手に服薬をやめる



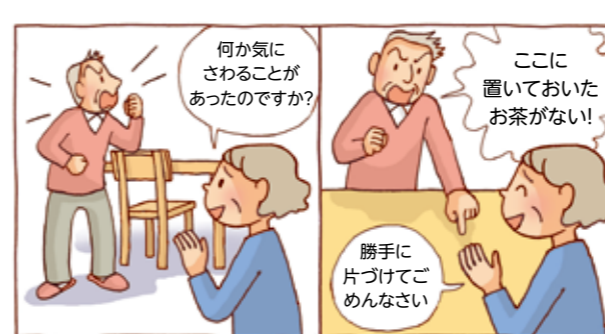
夜中に家の中でゴソゴソ動いて困る

- 昼間に日光を浴び、生活リズムを整え、規則正しい生活をする
- 睡眠導入を期待できるラベンダーなどのアロマオイルを枕元に置く
- 注意したり、叱ったりする
- 説得してやめさせようとする



突然興奮して大声で叫んだり、暴力を振るう

- 暴力行為に発展する前にイライラが生まれる環境を改善する
- 怒りの理由を理解し、自分に非があれば心から謝る
- 穏やかに接する
- 力で暴力を抑え込む
- 説得しようとする



失禁を見つけたときは

- 嫌な顔をしたりとがめたりしない
- さりげなく対処する
- 尿意のサインを見つけたらトイレまで誘導する
- 頻繁にトイレに行く場合は、かかりつけ医に相談する
- すぐに紙おむつを使う
- 嫌な顔をする
- 失禁をとがめる

